

金利によるインフレーション抑制の方法

日本経済新聞電子版（2022年6月16日）の報道によると「FRB（米連邦準備理事会）はFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.75%の利上げを決めた。Federal Fund Rateの誘導目標を1.50%~1.75%に引き上げる」という。米国が金利を上げると、日米関係だけでみると、米国に資金が流入してドルが買われて円が売られてドル高円安になる。自国通貨高はデフレーションを導いて、自国通貨安はインフレーションを導くので、米国はデフレーション策をとってインフレーションを抑制しようとしている。振り返って日本銀行は短期金利の目標を-0.1%に設定している。これによって、インターバンク市場のコールレートはマイナスである。5日前に書いたがマイナスの貸付金利では取引が成立しない。米国は先手を打ってきたが、日本はまるで無策である。米国はFF金利を上げることによってインフレーションを抑制しようとしているのであった。

2022年6月16日(木曜日)

英文法令社

佐藤 賢一